

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名: 保育内容(健康)指導法 英語表記: Method of Nursing(Health) ナンバリング: 2303		単位数: 1単位 (半期) 演習	担当教員名: 安倍大輔 担当形態: 単独
科目/系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 / 保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む) / 保育内容演習		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b> 1. 子どもの心身の発育・発達と健康のねらいと内容の関連を理解できる。 2. 健康に関する指導を行うのに必要な知見を身につけ実践することができる。 3. 健康に関する指導についての指導計画を立て実践できる。			
<b>【授業の概要】</b> 幼稚園教育要領及び保育所保育指針における領域「健康」におけるねらいと内容について理解する。子どものこころとからだの発達、遊びの持つ意義、生活習慣の獲得の過程を学ぶ。子どもの健康を取り巻く現代的な問題を念頭に置きながら、子どものこころとからだの発達段階に合った健康の指導法について学ぶ。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
<b>【授業計画】</b> 第1回: 幼稚園教育要領・保育所保育指針における健康について 第2回: 子どものこころとからだの発育・発達について 第3回: 子どもの運動発達について 第4回: 子どもと遊び①～子どもにとっての遊びとは 第5回: 子どもと遊び②～子どもの遊び現状と課題 第6回: 子どもと遊び③～子どもの遊びの支援 第7回: 基本的な生活習慣①～睡眠・食事 第8回: 基本的な生活習慣②～衛生・排泄・衣服の着脱 第9回: 子どもの怪我・病気について 第10回: 現代の子どもの健康を取り巻く問題① 第11回: 現代の子どもの健康を取り巻く問題② 第12回: 子どもとメディア 第13回: 子どもの健康と食育 第14回: 子どもの安全管理と安全教育 第15回: 子どもの健康における幼保小の連携について		<b>【授業時間外の学習】</b> (事前学習 1時間) ・各回の授業内容についてテキストの該当箇所を読んでおく。 ・日頃から子どものからだや健康に関するニュースに関心を持ち、それを読む(見る)。  (事後学習 1時間) ・授業内容を振り返りノート等にまとめる。もし十分に理解できない内容がある場合は次回の授業で質問できるように疑問点を整理する。	

定期試験：期末課題（記述試験）	
【授業の方法】 講義及び演習。レポートについてはフィードバックする。	
【テキスト】 安倍大輔・井筒紫乃・川田裕次郎監修・編著「新版 保育者を目指す 保育内容『健康』」圭文社	
【参考書・参考資料等】 『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』	
【学生に対する評価】 中間課題（30%） 期末課題（50%） 授業参画度（20%）。 ルーブリックを活用し総合的に評価する。	
【履修上の注意】 事前事後の学習を行い授業に積極的に参加すること。	
実務経験の有無：無	実務経験：
【実務経験を生かした教育内容】	